

○番（○○議員）

○番、大阪維新の会の○○です。大阪維新の会を代表致しまして、議員提出議案第3号、門真市議会議員定数条例の一部改正について、賛成の立場で討論を行います。

我々、大阪維新の会としましては、今後厳しくなると予想されている財政状況および人口減少と少子高齢化、深刻化する市民の皆さまの生活不安を軽減する一助として、議員定数の削減を強く求めるものであります。

その背景としましては、戦争等による深刻な世界情勢の不安やエネルギー価格の高騰、物資供給の崩れ、円安を受けての物価高騰など、生活水準が上向かない状況において、本市の対応が求められております。

先日、国において中東情勢等対応予備費など約3.1兆円規模の補正予算が成立いたしました。今後、国からの支援が途絶えたときに、あらゆる負担が市民に大きくなってしまうことは間違いありません。

本市におきましても、市民福祉の向上、教育環境の改善、まちづくりなどの推進すべきものや支援すべきものなど行政が担う役割は計り知れません。

4年前にも申し上げましたが、職員給を除いた本市の議会費、つまり議員にかかる経費が類似団体や大阪府の人口10万人から15万人の他市と比べると高いことが明らかになっております。その事実に向き合わずして、今後も我々議員が行政に対して様々な指摘をする際に、他市と比較して本市の現状を把握し、劣っている場合や異なる

っている場合にその理由をただし、問題を提起し改善を促すといった議論を今後も続けるつもりでしょうか。

また、本市のこれまでの議員定数削減の経緯をみますと、平成17年6月に「門真市議会議員の定数削減を求める会」からの請願を受理し、平成19年4月の一般選挙より定数を28名から22名に削減しました。その後、平成24年5月には、門真市政を考える会から定数を18名に削減を求める要望書の提出を受理し、平成27年4月の一般選挙より定数を21名に、平成31年4月の一般選挙より20名と段階的に減らしてきました。その要望書のなかでは「門真市議会の議員定数は、門真市の厳しい財政状況を勘案し、議員は実行力のある優秀な人材を議員定数として18名まで削減すべき」と書かれております。我が会派としましては、市民の皆さまと交わした約束は、着実に実行すべきと考えております。

いずれにいたしましても、採決による結果が後の市民対応にも大きく影響を及ぼすものであると申し上げまして、賛成討論といたします。